

令和四年十月二日 係就任式

神 示

神示教会に 神はなぜ 係を誕生させるのか 教えよう

人間は 人 物との関わりを持つことで

「人生」を磨き 高めてゆく

なれど 人との出会いが深められず

自ら「実体」を下げ 自ら悩み 苦しむ

人間は 「教え」に気付きを得て

自ら「心」を修正することで 出会いが生きてくる

ますます「運命」は磨かれ 品性を高めてゆく

係に申す

「教え」に悟りを深め

家族・縁者 友人・知人に 「真理」で関わる意識を持つ

自然と 相手の気持ちを感じられ 出会いを深める心が動く

この出会いが 重なり 増えるほど

「奉仕」の心が身に付いてゆく

「運命」に重なる 「人たる人の心」の人と成る

係の立場を受ける今 救世の「任」と「分」を悟る心がほしい

輝光を我が家の「心の道」に残すため

我が身の立場を貴ぶ人であれ

地域に「係」が誕生することで

人は 「人生の手本」を得て 自ら「実体」を修正して行く